

# 全社レベルでのシステム導入による プロジェクト管理プロセスの改善

日立ソフトウェアエンジニアリング

角田 文広

浅沼 信行

坂井 康記

**HitachiSoft**

1. 動機
2. 改善目標
3. 改善上の課題とリスク
4. システムの導入戦略(段階的アプローチ)
5. 各段階の詳細とシステム概要
6. 結論と今後の課題

# 1. 動機

- 300～1000人 / 事業部  
事業部ごとに工夫した管理方法
- プロジェクト情報が社内の様々な管理システムに分散
  - プロジェクトの状況を随時簡単に把握するのが困難
- 事業部ごとのプロジェクト管理規格
  - 指標はほぼ同じ
  - 報告帳票は、事業部ごとに異なる



全社レベルの標準化、底上げ

## 2. 改善目標

- プロジェクト管理情報を標準化、一元管理したシステム
- 上記システムをプロジェクト関係者全員が使う
- 上級管理者は上記システムから状況を随時把握  
PMの負荷を軽減

## 3 . 改善上の課題とリスク

### 課題

- **意識を変える**

  - 管理者は自分の管理スタイルを変えたがらない

  - 幹部は、自分の見やすい方法で報告させたい

  - 技術者、管理者にとっては、定量的で詳細な報告書は面倒

- **技術的な問題の解決**

  - システム開発上の難易度は高くない

- **予算確保**

  - 上位管理者にシステムの効果を理解してもらう

## 3 . 改善上の課題とリスク

### リスク

- **管理システムではなく、報告システムになる**
  - 上級管理者はPMにフィードバックすること
  - PMはシステムが提供するテンプレートを日常の管理に使うこと
- **開発したシステムが使われない**
  - 上級管理者にシステムの便利さを認識させること
  - 上級管理者がシステムを通してレポートを見ていることをPMに知らしめる
- **Write-Only データベース**
  - 上級管理者は、システムに格納したデータを利用してプロジェクトを監視すること

## 4. システムの導入戦略

- 早い段階でシステムの有用性を関係者が理解
- 関係者(特にPM)の負荷を最小限に
  - 主要な関係者の作業(役割)が大きく変わらない
  - 各関係者の追加作業と効果、利点がバランスする
- 要望事項等を素早くシステムにフィードバック



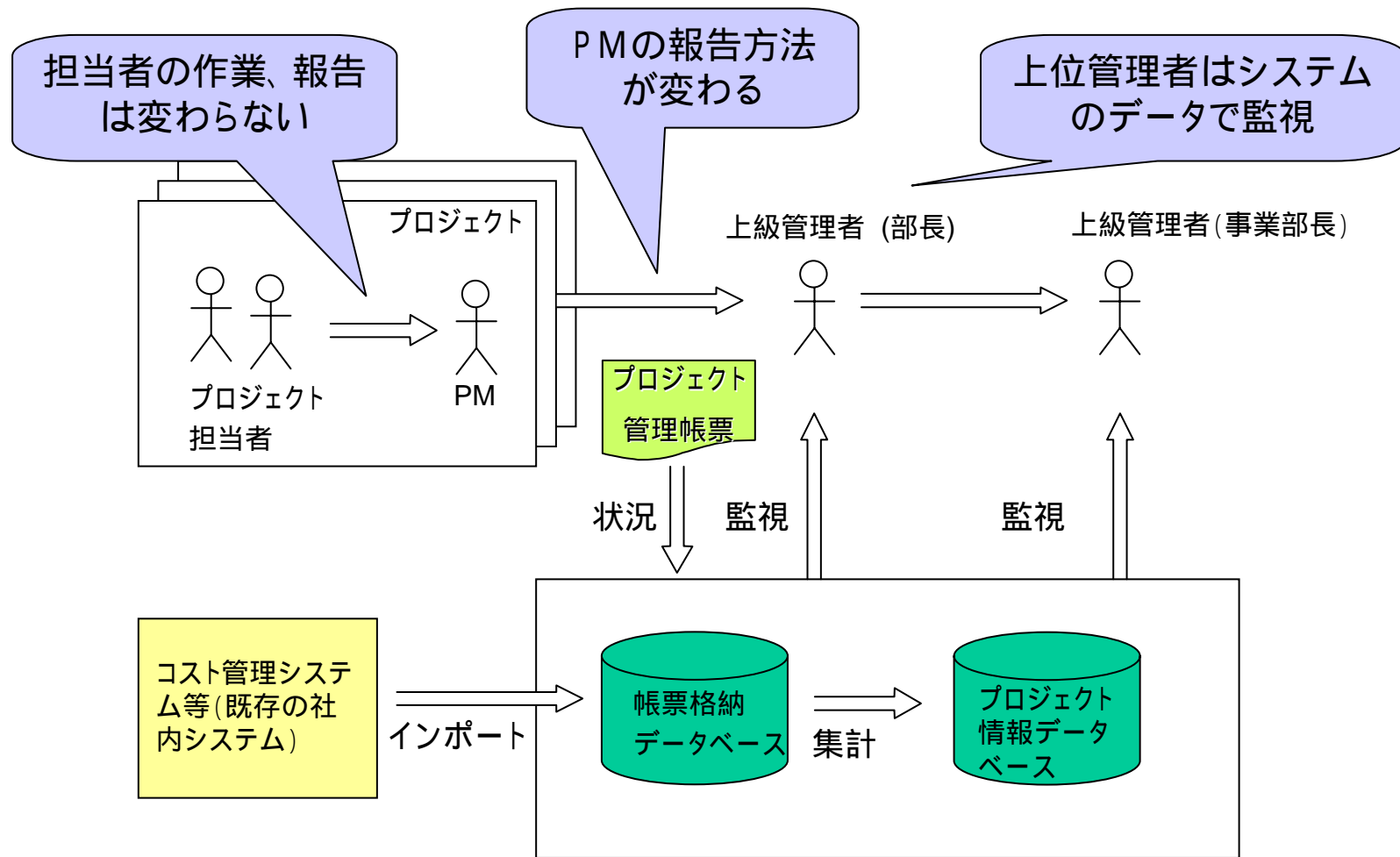
**段階的なアプローチ**

## 4 - 1 . 各段階の目的と概要

#	目的	概要
1	1) 関係者がシステムの利点を知る 2) コミットメントを得る  <b>対象:一部PJ、一部PM</b>	1)Excelベースの報告帳票の標準化 2) 上記帳票の収集とExcelベースDBへの集約 3) ExcelベースDBの情報をWebで公開
2	1) ユーザの拡大 2) 現場での適用  <b>対象:一事業部、多数のPM</b>	1) 指標の追加 2) 工程会議で利用する帳票を出力 3) 既存の原価管理システムなどと接続
3	1) 全社での活用  <b>対象:全社の重点PJ</b>	1) ExcelベースのDBからDBMSへの変更 2) プロジェクトの状況を容易に確認できる画面の追加 3) Webからのデータチェック、更新機能.



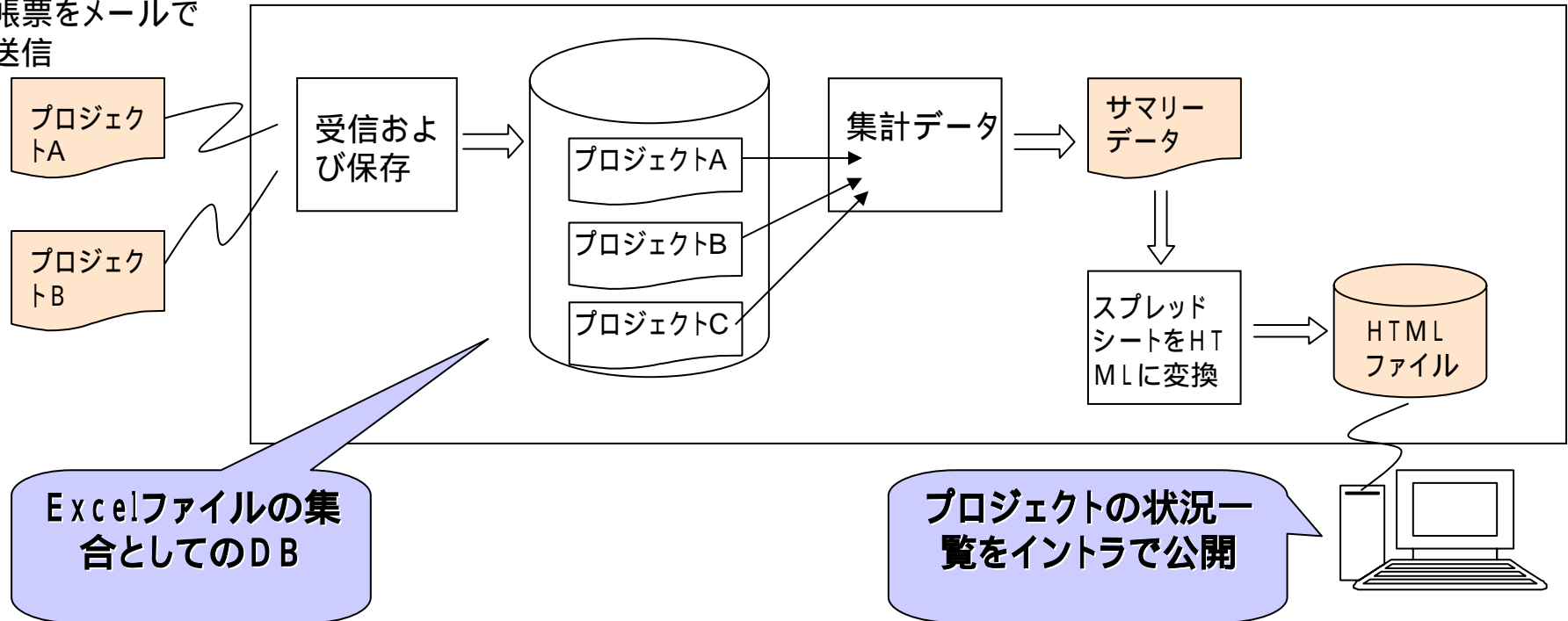
# 5. システム概要 (各段階の共通イメージ) HitachiSoft



# 5 - 1 . 第1段階のシステム

## 目的:コミットメントを得る

プロジェクト管理  
帳票をメールで  
送信

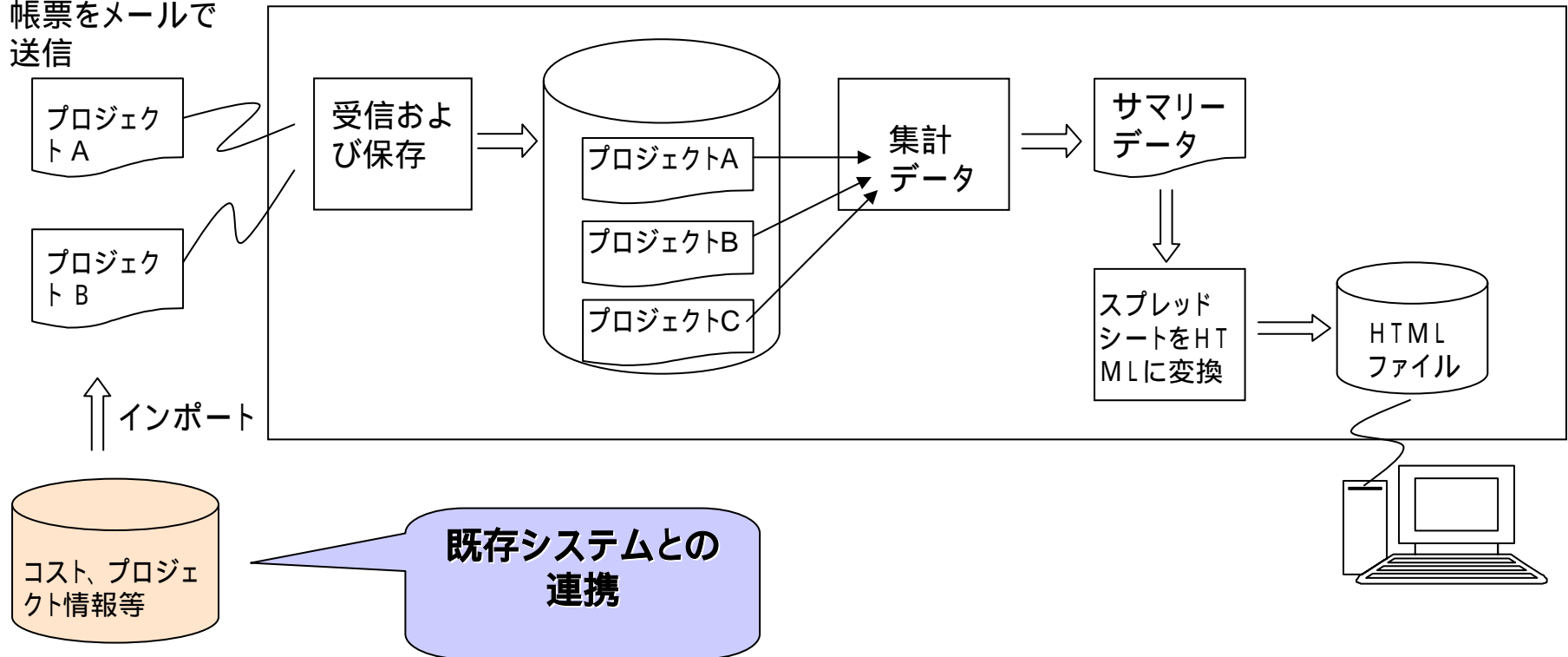


**まずは簡単なシステムにより、利点を理解**

# 5 - 2 . 第2段階のシステム

## 目的: ユーザ拡大

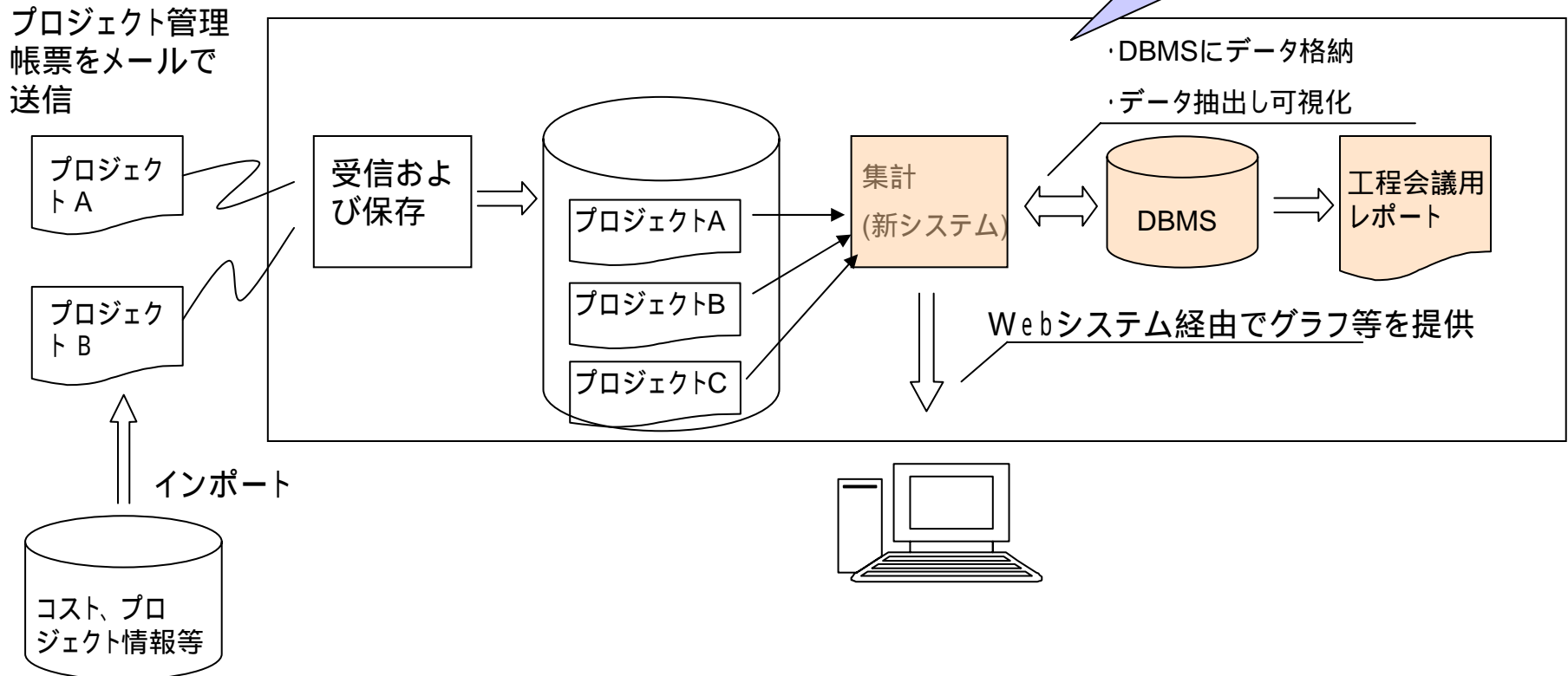
プロジェクト管理  
帳票をメールで  
送信



**既存システムとの連携等によりユーザ拡大**

## 5 - 3 . 第3段階のシステム

## 目的: 全社での活用



Webシステム化等による機能強化で全社展開



## 個々のプロジェクト状況

サブプロジェクト状況概要報告表 - Microsoft Internet Explorer

ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り

アドレス(G) G:\開発\見える化\ドキュメント\2次開発\A操作説明書\contents\05.01.01.サブプロジェクト状況概要報告表.htm

**HitachiSoft**  
**ブレークスルー作戦!!**

### サブプロジェクト状況概要報告表

プロジェクト選択 | [サブプロジェクト一覧](#) | [QA担当サブプロジェクト一覧](#) | [ホーム](#) | [イントラトップ](#) | [プロジェクト統合DB](#) | 処理者: 山田太郎

原価(*)	規模	工程	QA評価	サブプロジェクト開始	05/02/01	(*)総合DB上で原価実績が計上され、バッチ処理で自動設定された場合、%および日付の書式が斜体になります。 ・括弧内の日付は最終更新日です。	お気に入りに追加	帳票ダウンロード
112%	0%	0日	△	サブプロジェクト完了	06/04/15(予定)			
02/03	03/31	02/03	02/03					2006/02/09 現在

プロフィール (01/06) [詳細](#)

担当設計	PJ-Sub番号	サブプロジェクト名	注文主	需要先	担当QA	リスク
山田s102	005000-002	会計Aサブシステム	山田コンピュータサービス	山田商事	スズキsQA04	L2

引合会議	見積会議1	見積会議2	開発計画書R	開発計画書提出	関所1	関所2	本番稼働前R1	本番稼働前R2	本番稼働日
予定	05/03/01		05/05/16	05/05/23	05/09/20		06/01/31	06/02/01	06/04/15
実績	05/03/01		05/05/16	05/05/23	05/09/20				

体制(人)	規模(Ks)	見積金額(M¥)	受注金額(M¥)	原価(M¥)		懸案(件)		未実施イベント		
(01/05) <a href="#">詳細</a>	(03/31) <a href="#">詳細</a>			(02/03) <a href="#">詳細</a>		(09/09) <a href="#">詳細</a>		(01/06)		
予定	目標	金額	推定	目標原価	実推原価	仕様(累計)	管理(累計)	イベント名	予定日	見通し日
実績	実推	粗利(%)	確定	実績原価	実推粗利(%)	残件数	残件数	仕様顧客承認	05/06/30	
31	314.0	328.1		264.4	295.7	7	42	仕様凍結	05/06/30	
31		21.7	328.5	272.3	10	1	3	稼働前レビュー1	06/01/31	

設計進捗状況(未完了工程) (工程進捗: 02/03、品質: 02/09) [工程進捗詳細](#) [品質詳細](#) [レビュー結果\(直近\)\(01/24\) 詳細](#)

工程名	開始予定日	開始実績日	終了予定日	作業進捗(%)	不良件数	未解決件数	±日数	対象物件	指摘件数	採用件数
ST	06/01/19	06/01/19	06/02/28	425/2962SCL件数 (14.3%)	0/0	0	0			
DL	06/02/28		06/02/28	0/0 (0.0%)	0/0	0	0			
TT	06/03/01		06/03/31	0/0 (0.0%)	0/0	0	0			

ページが表示されました

イントラネット

## 複数のプロジェクト状況

http://mg.is.hitachi-sk.co.jp - アラーム一覧 - Microsoft Internet Explorer

アラーム一覧

プロジェクト選択 | サブプロジェクト一覧 | QA担当サブプロジェクト一覧 | ホーム | プロジェクト統合DB | 処理者: 浅沼信行

表示単位: 本部単位(○×本)、事業区分(基本ソフト開発、業務ソフト開発、パッケージ、SE・サービス、研究開発)、受注形態(一括請負、作業請負、加工・派遣、状態仕掛り中)

原価、規模、工期、品質の項目をクリックするとその項目の詳細検索ができます。また、サブPJ番号をクリックするとサブプロジェクトの状況概要が参照できます(括弧内は報告済みのサブプロジェクトは、グレーの背景色で表示します。)

検索ページ: 1 2

13件中 1-10件目 [次ページ](#)

原価(★1)	規模	工程	QA	PJ-Sub番号	プロジェクト名	サブプロジェクト名	需要先	サブPJ取継者	PM
88% 11/03	52% 10/21	0日 11/11	△	005418-007	航空貨物輸送システム	航空貨物輸送サブシステム	○×△運輸	山田s○×1	鈴木s○×1
115% 11/06	92% 10/14	1日 11/11	△	005629-028	物流管理システム	物流管理Aサブシステム	○×△工場	田中s○×1	田中s○×1
98% 11/14	70% 11/07	-4日 11/11	△	005629-045	物流管理システム	物流管理Bサブシステム	○×△工場	山田s○×1	田中s○×1
100% 11/13	100% 10/14	0日 10/14	○	005629-047	物流管理システム	物流管理Cサブシステム	○×△工場	山本s○×1	田中s○×1
107% 11/11	106% 11/11	-1日 11/11	△	005991-017	販売管理システム	販売管理Aサブシステム	○×△商事	小泉s○×2	小泉s○×2
99% 11/11	53% 11/03	-2日 11/11	○	005991-018	販売管理システム	販売管理Bサブシステム	○×△商事	福田s○×2	小泉s○×2
110% 11/10	99% 11/11	0日 11/11	△	009098-001	会計システム	会計Aサブシステム	○×△商店	小池s○×2	小池s○×2
83% 11/11	70% 10/24	0日 11/11	△	009098-003	会計システム	会計Bサブシステム	○×△商店	前原s○×2	小池s○×2
134% 11/04	87% 10/28	-10日 11/11	△	009595-001	金融システム	金融サブシステム	○×△銀行	山崎s○×2	山崎s○×2
56% 11/03	61% 11/14	-2日 11/18	△	009784-004	証券取引システム	証券取引サブシステム	○×△証券	加藤s○×3	加藤s○×3

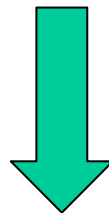
アラームの色について

ページが表示されました

コスト 規模 タイム 品質

## 6 . 結論と今後の課題

- 段階的アプローチによりプロジェクト管理支援システムを展開
- プロジェクト情報を統合、一元管理
- 重点プロジェクト中心で利用
- 工程会議資料等の作成に有効利用



- 社内でのさらなる浸透
- 既存システムとの連携ではなく、統合へ。